

今後、刈田総合病院をどのように支えていく方針なのか

伊藤 勝美



〔質問〕白石市民の安全安心を担っている刈田総合病院の置かれている現状について、どのように理解されているか伺う。

〔答弁〕〔市長〕刈田総合病院は、本市はもちろんのこと、仙南2市7町17万1千人の仙南医療圏において中心を担う、なくてはならない存在である。また、地域住民から頼られ、住民の健康を守るとりでもあり、存在意義は非常に大きいものがあると思っ

ている。しかし、病院経営は、構成市町からの繰り入れにより財政補填され維持されている実情があることから、公立病院

の責任を果たしつつ、自立した経営を目指して必死の努力を続けているところであり、本市としても全力で支えていかなければならない重要課題であると考えている。

〔質問〕刈田総合病院における経営責任者は誰なのか確認する。

〔答弁〕〔市長〕刈田総合病院の最高経営責任者は管理者であると考えている。

〔質問〕刈田総合病院の最大出資者である白石市は、今後、病院をどのように支えていく考えなのか。

特に、負担金や補助金など繰出金による財政支援に対する市長の見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕これまで多額の財政支援を行い、病院を支え続けてき

た。それは、その財源である市の財政調整基金が十分にあったため支援ができたわけだが、本市の財政状況は非常に厳しく、今までのような財政支援を行うことは困難となっている。

そこで、これまでも刈田総合病院には、一企業体として頑張っていたが、構成員の財政状況を勘案し、さらなる企業努力、経営改善をしていかなければならないと考えている。

また、市としては、病院の経営を何とか安定させるため、さらなる支援を求めるために、厚生労働省や総務省、官邸、地元国会議員等にも直接要望を行い、全力で努力をしている状況である。

【その他の質問】

◎台風被害の影響と対策について

◎人事行政の運営状況について

関係人口について

菊地 忠久



〔質問〕関係人口とは、定着する移住・定住人口でもなく、観光にきた一過性の交流人口でもない、その中間に位置する地域と多様に関わる人々を指す。

関係人口に対する所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕地域力の維持、強化のための地域づくりの担い手育成や移住交流の促進による将来的な定住人口増加も期待できることから、利点は大きいものと認識している。

〔質問〕次期総合計画や総合戦略に明記し、積極的に関係人口を増やす取り組みをすべきと考えられるかがか。

〔答弁〕〔市長〕まちづく

りは人づくりと言われるように、人材育成が非常に重要になる。地域課題解決のため、関係人口の存在が直接的、間接的に大きな役割を果たすことを期待している。

第六次白石市総合計画並びに第2期白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略においても、関係人口に係る取り組みを重要政策と位置づけ、積極的に推進していくことが必要であると認識している。

〔質問〕ふるさと納税寄附者に対して、SNSなどを通じ情報発信し、関係人口拡大に努めることが重要と考えるかがか。

〔答弁〕〔市長〕ふるさと納税寄附者や本市出身者、勤務経験者など、本市につながるや思い入

れがある方々を対象に、SNSをはじめとした各種メディア・ネットワークを通じた情報発信、コミュニケーションなど、関係人口の拡大に向けた受け皿づくりや関係人口の活躍促進事業を総合計画及び総合戦略の施策として位置づけることを検討していく。

〔質問〕具体的に考えているものはあるか。

〔答弁〕〔市長〕「地方創生対策室長」各種情報発信に加え、地域でのボランティア活動や地域イベントの参加、自然体験や農業体験、若者世代を対象としたインターシップなどのファンづくり、都会と都市の2地域を目指した副業兼業の紹介、サテライトオフィスの開設支援などが考えられる。

【その他の質問】

◎白石市中学生議会について

◎台風19号による災害について